

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	就学前・学校教育	4	つながりある教育体制の充実

事業名	放課後子ども教室推進事業(生涯学習課)	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	---------------------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	事業の執行方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他	
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り				(具体的な法令、条例名等)

#### (事業の目的・趣旨)

地域の大人の協力を得て、子どもたちに読み聞かせなどを行い、本を読む機会を増やすとともに子どもの居場所づくりと地域住民の交流活動などを支援する。

#### (事業概要等)

近隣自治会や地域のボランティア等の協力を得て、学校の図書室を地域開放し、子どもたちの活動拠点(居場所づくり)を確保。読み聞かせなどのイベントを行い、本を読む機会を増やすとともに、さまざまな催しを行うことで、地域住民との交流活動等を支援する。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	280	420	420	560	
[参考] 財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	府支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	受益者負担・商品分布収入等				
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	委託料				420

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
開設日数(りぶれEBISU)	日	42	41	38	40
開設日数(ミント条東)	日	12	12	10	11
開設日数(ブックランド・あさひ)	日		3	11	12

(指標を設定できない理由)

#### (成果の概要)

小学校の図書室を定期的に開放し、地域の子どもを中心に読書をするほか、さまざまなイベントなどを行うことで、市内における居場所づくり、地域交流の拠点の一つとなっている。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	地域の自治会やボランティアの方によって運営される委託事業であるため、これまでに特段の事務の見直し等の実施はない。
--------------	--

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	・継続的な運営の担い手の掘り起こしや確保。
---------	-----------------------

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 読書環境や地域の交流拠点の整備には、今後も継続的な実施が必要であるため。
		現行の3校に加え、地域開放実施校を増やすことも視野に入れており、今後も継続的な地域開放事業が行えるよう、運営の担い手の掘り起こしや確保に注力する必要がある。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	青少年育成	1	健全育成の環境づくり

事業名	青少年育成事業(生涯学習課)	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	----------------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	事業の執行方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他	
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り				(具体的な法令、条例名等)

### (事業の目的・趣旨)

本市の青少年健全育成のために、育成機会を創出する。

### (事業概要等)

・健全育成のための音楽活動(吹奏楽団)を指導する講師謝礼の支出  
 ・泉大津市が契約する日高川町にある施設を利用するにあたり、その費用の一部を助成する。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)		536	558	510	
[参考] 財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	府支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	受益者負担・商品分布収入等				
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	報償費				510
	負担金、補助及び交付金				48

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
泉大津市吹奏楽団指導実施日数	日	51	51	51	51
市民研修施設補助金利用者数	人	44	26	48	-

(指標を設定できない理由)

### (成果の概要)

市民の社会教育活動が推進された。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	市民研修施設に対する補助を令和元年度をもって終了した。
--------------	-----------------------------

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	なし
---------	----

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 現行の取組を進める一方で、事業内容や手法を精査する余地がある。
改革・改善 策等の具体 的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	生涯学習	1	生涯学習推進体制の整備

事業名	社会教育活動推進事業	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	------------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	会計区分
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	事業の執行方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他	
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り			

#### (事業の目的・趣旨)

社会教育に関し、教育委員会に助言することを任務とする社会教育委員会議の運営を行う。  
また、生涯学習を推進するため、大学との連携や公民館活性化等の事業を行う。

#### (事業概要等)

社会教育活動を推進するため、社会教育委員会議で事業内容について審議を行う。  
また、生涯学習を推進するため、南大阪コンソーシアム連携事業、公民館等施設活性化事業、親学習事業などを行う。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,704	1,531	1,255	2,046	
〔参考〕 財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	府支出金	200	158	185	180
	地方債				
	その他特定財源				
	受益者負担・商品分布収入等				
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	報酬、報償費				341
	旅費				101
	需用費				58
	委託料				710
	負担金、補助及び交付金				45

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
社会教育委員会議(研修等含む)開催回数	回	6	6	3	6
親学習開催回数	回	12	3	3	10

(指標を設定できない理由)

#### (成果の概要)

親学習リーダーを中心とした学習会の開催回数であり、回数が多いほど学習提供の機会を創出できたと考えられる。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	連携大学と協働して、生涯学習事業に大学がもつ知的・人的資源を導入した。
--------------	-------------------------------------

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	地域、学校教育、生涯学習が連携した教育・学習活動をより進めることが課題である。
---------	---

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 社会教育委員会議の運営は必須である。 大学連携等についても、引き続き発展的に実施する。
改革・改善 策等の具体 的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	おてんのう会館管理運営事業	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	---------------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	事業の執行方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他	
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り				(具体的な法令、条例名等)

### (事業の目的・趣旨)

地域コミュニティ醸成の場であるおてんのう会館の運営を支援する。

### (事業概要等)

おてんのう会館の運営に必要な経費(光熱水費等を除く)を負担し、地域住民の生涯学習の拠点となるよう運営する。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	216	416	256	217	
<small>【参考】</small> <small>財源内訳 (千円)</small>	国庫支出金				
	府支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	受益者負担・商品分布収入等				
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	需用費				58
	委託料				198

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
延べ利用者数	人	10,357	9,611	7,590	10,000

(指標を設定できない理由)

### (成果の概要)

地域住民の生涯学習拠点として利用が図られた。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	なし
--------------	----

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	公共施設適正配置計画との関連もあり、あり方の検討が必要である。
---------	---------------------------------

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	B 要改善	(左記評価の理由) 施設の実際のサービスから考えられる運営形態にすることが望ましいと考 える。
改革・改善 策等の具体 的内容	施設の実際の役割が、一般的な自治会館と同様であることから、その運営形態も同様にす る方が、住民の公平性から考えても適当であるので、地域の自治会館となるべく、地域に 権利を移す。	



## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	ブックスタート事業	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	-----------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	事業の執行方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他	
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り				(具体的な法令、条例名等)

#### (事業の目的・趣旨)

すべての世代が学びあい、育ちあえるまちをめざし、「絵本」を通じて、赤ちゃんと保護者に心地よい・心触れ合う、ひと時を過ごしていただくとともに、「絵本」の素晴らしさを実感・体験してもらう。

#### (事業概要等)

乳児(4か月)と保護者に絵本を贈り、ボランティアによる読み聞かせを行う。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	356	356	609	616	
[参考] 財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	府支出金				
	地方債				
	その他特定財源			609	616
	受益者負担・商品分布収入等				
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	需用費				609

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
ブックスタート参加率(参加人数/4ヶ月健診対象者)	%	97	99	92	100

(指標を設定できない理由)

#### (成果の概要)

泉大津市立保健センターと連携を図り、保健センターが行っている乳児健診時(4か月)に、絵本を読み聞かせをすることにより、「肌の温もりを感じながら言葉と心を通わす、そのかけがえのないひと時を絵本を介して持つこと」ができた。(開催、年17回・513組)また、当事業を通して図書館が実施している「赤ちゃんのためのおはなし会」等への参加や図書館の利用促進が図られた。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	
--------------	--

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	ボランティアの担い手不足や高齢化が進んでいる。
---------	-------------------------

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 幼い時期より本(活字)に親しみを感じてもらい、習慣付けることが必要である。
改革・改善 策等の具体的 内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	学校図書室地域開放事業(生涯学習課)	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	--------------------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	平成26年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		事業の執行方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他		
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り				(具体的な法令、条例名等)	

#### (事業の目的・趣旨)

地域の大人の協力を得て、子どもたちに読み聞かせなどを行い、本を読む機会を増やすとともに子どもの居場所づくりと地域住民の交流活動などを支援する。

#### (事業概要等)

近隣自治会や地域のボランティア等の協力を得て、学校の図書室を開放し、子どもたちの活動拠点(居場所づくり)を確保。読み聞かせなどのイベントを行い、本を読む機会を増やすとともに、さまざまな催しを行うことで、地域住民との交流活動等を支援する。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	30	25	25	80	
(参考) 財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	府支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	受益者負担・商品分布収入等				
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	報償費				25

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
図書室開放事業に伴うイベント開催日数	日	4	5	5	6

(指標を設定できない理由)

#### (成果の概要)

小学校の図書室を地域開放し、子どもを中心に読書をするほか、さまざまなイベントなどを行うことで、市内における地域交流の拠点の一つとなっている。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	地域の自治会やボランティアの方によって運営される委託事業であるため、これまでに特段の事務の見直し等の実施はない。
--------------	--

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントに招致する講師等のラインナップが少ない。</li> <li>・例年と同じ内容のイベント実施が多い。</li> </ul>
---------	--

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 読書環境や地域交流拠点の整備には、今後も継続的な実施が必要であるため。
改革・改善 策等の具体的 内容	イベント実施の際は、招致する講師等のラインナップにバリエーションをもたせられるよう、各委託先の団体へ働きかける。	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	環境教育図書等拡充事業	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	-------------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	平成29年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		事業の執行方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他		
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り				(具体的な法令、条例名等)	

### (事業の目的・趣旨)

環境図書を通じて、市民の環境学習と読書を推進する。

### (事業概要等)

環境図書の充実を図る。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	300	300	298	800	
[参考] 財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	府支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	受益者負担・商品分布収入等				
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	備品購入費				298

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値

### (指標を設定できない理由)

環境学習の進捗の具体的成果を数値化することは困難であるため

### (成果の概要)

本事業により、市民が読書を通じて環境について学び考えることができた。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	本事業は地域環境基金によって環境教育関連図書を購入し、図書館にて配架を行っているもの。煩雑な事務作業はないため、これまでに特段の改善を行った点はない。
--------------	---

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	本事業は地域環境基金によって環境教育関連図書を購入し、図書館にて配架を行っているもの。煩雑な事務作業はないため、これまでに課題や問題点が生じたことはない。
---------	---

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 本事業の継続が、環境学習の推進につながると考えるため。
改革・改善 策等の具体 的内容	本事業によって、環境図書による環境学習の推進を図れていると考えており、現状、改革・改善策等については検討していない。	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	環境体験学習推進事業(生涯学習課)	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	-------------------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	平成27年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		事業の執行方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他		
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り				(具体的な法令、条例名等)	

### (事業の目的・趣旨)

子どもたちと自然環境とのかかわりを通じて、環境学習を推進する。

### (事業概要等)

参加者(泉大津市・日高川町内の小学生)に対し、和歌山大学の教員や学生が作成した教育プログラム(2泊3日の宿泊を伴うプログラム)を提供し、交流や体験を通じた環境教育を促す。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	388	1,314	1,315	1,466	
[参考] 財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	府支出金				
	地方債				
	その他特定財源		880	871	1,016
	受益者負担・商品分布収入等	0	434	444	450
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	旅費				57
	委託料				1,258

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
参加者	人	16	29	30	30

(指標を設定できない理由)

### (成果の概要)

自然とふれあう機会が少ない泉大津市内の小学生が、自然を学び、環境について考えることができた。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	和歌山大学との連携事業とし、より有意義なプログラムの提供に努めている。
--------------	-------------------------------------

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	環境学習の推進を図られていると考えているが、より効果的な改善を図る努力が必要と考える。
---------	---

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 継続することが、環境学習の推進につながると考える
改革・改善 策等の具体的 内容	効果検証が課題であったが、事業報告書の発行により効果を検証することができた	



## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	勤労青少年ホーム運営・維持管理事業	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	-------------------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	昭和56年	~	終了年度	令和4~8年	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民	<input type="checkbox"/> 企業	事業の執行方法		<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託
	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他			<input type="checkbox"/> 市民との協働	<input type="checkbox"/> その他	
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り				(具体的な法令、条例名等) 勤労青少年福祉法(平成27年9月30日付法改正)		

#### (事業の目的・趣旨)

法改正により「勤労青少年」のうち「勤労」及び「勤労青少年ホーム」に関する規定が削除となったが、社会教育関係団体を中心とした活動拠点として運営を行っている。

#### (事業概要等)

機構改革により、勤労青少年に対する各種の相談事業がなくなり、クラブ活動その他の地域活動の拠点としての管理運営事業を行う。

### 【事業費】

項目 / 年度		H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)		4,208	8,368	10,564	11,184	
[参考] 財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	府支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	受益者負担・商品分布収入等	560	509	491	525	
令和元年度事業費内訳(単位:千円)		費目				金額
		賃金・報償費・旅費				3,703
		需用費・役務費				1,929
		委託料				4,725
		使用料及び賃借料				187
		貸付金				20

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
総利用者	人	27,657	27,229	24,376	22,500
利用者数(ホーム利用対象者である勤労青少年)	人	3,440	2,901	4,364	4,000

(指標を設定できない理由)

#### (成果の概要)

自主的活動を支援。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	
--------------	--

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	ホームの老朽化に加え耐震補強の件で、将来廃止の方向で検討されているが、社会教育施設としての存続の声が強くなっている。
---------	--

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	D 休止・廃止	(左記評価の理由) 現在の施設では耐震基準も満たしていない状態であり、ハード面での機能は廃止するものである。
改革・改善 策等の具体 的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	新図書館整備事業	担当課名	新	生涯学習課
			旧	生涯学習課

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	令和元年度	~	終了年度	令和2年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		事業の執行方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他			
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り				(具体的な法令、条例名等)		

### (事業の目的・趣旨)

本を読む、学習する、調べるといった機能や、市民が憩い、安らぎ、暮らしを楽しむ公共空間としての機能を強化しながら、多様化・複雑化する市民ニーズや知的的好奇心、興味に幅広く応えるため、また図書館の集客性を活かして様々な層の来館者の交流を促進し、駅周辺の恒常的にぎわいの創出を図るため、「多種多様なイベント・セミナー」を積極的に開催するとともに、中小企業等が抱える経営課題や、創業時の課題に対して必要な書籍や情報を提供することで、企業の業績改善など様々な課題の解決に寄与し、また創業しやすい土壌を整備する「ビジネス支援機能」を充実させるなど、新たな付加価値を有した「泉大津市の魅力・情報の発信拠点」としての機能を持つ新しい図書館を整備する。

### (事業概要等)

本市が目指す図書館を整備するため、新図書館の設計に係る事務の遂行並びに市民とともに造り上げる図書館であることを位置付けるため、図書館に関するフォーラムや市職員に対する研修を開催し、図書館整備の機運醸成を図る。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考	
事業費総額(千円)	0	0	8,590	737,424		
[参考] 財源内訳 (千円)	国庫支出金	0	0	0	245,653	R元年度当初予算において設計委託料を計上しているが、R2年度に繰越したため、50,578(千円)をR元年度決算見込みから除いている。(R2年度予算ではないためR2予算額にも含まれていない。)
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	330,400	
	その他特定財源	0	0	0	93,324	
	受益者負担・商品分布収入等	0	0	0	0	
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額	
	報酬				81	
	報償費				118	
	旅費				358	
	役務費				446	
	委託料				7,587	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値

(指標を設定できない理由)

図書館の完成が成果となるため指標化には馴染まない。

(成果の概要)

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	
--------------	--

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	
---------	--

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 令和3年7月の開館に向けて関係事務を執行するとともに、開館以降も市民とともにある図書館として位置付けるため、機運醸成を図るための取り組みを検討する。
	改革・改善 策等の具体的 内容	本事業開始以降、これまでも機運醸成を図るための取り組みを実施してきたが、その周知の時期や方法に課題があった。新図書館開館までの同取り組みについては多くの市民が参画できるよう周知時期やその方法等について適切に執り行う。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	図書館運営・維持管理事業	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	--------------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	事業の執行方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他	
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り			(具体的な法令、条例名等) 図書館法、 泉大津市立図書館条例・規則	

#### (事業の目的・趣旨)

公共図書館として、資料の収集・整理・保存を行い、市民の利用に供し、市民の求める情報等を把握し、読書に親しむ機会を提供する。そして、読書が生活の中に習慣付けられ表現力や想像力等を養っていくうえで、その一助になるよう努める。また、IT化等の推進により利用者の利便性の向上、事務の効率化を図っていく。

#### (事業概要等)

図書等の整理及び貸出、返却業務(配架も含む)、レファレンス業務、おはなし会、人形劇、読書会、映画会等の開催、並びに団体貸出し業務、インターネットによる資料購入、予約、蔵書点検、施設の維持管理及び修繕・改修。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	34,535	32,696	34,891	35,155	
(参考) 財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	府支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	受益者負担・商品分布収入等	21	21	10	18
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	報酬・賃金・旅費・需用費				13,377
	役務費				335
	委託料				16,814
	使用料及び賃借料・備品購入費				4,301
	負担金、補助及び交付金				64

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
利用者人数	人	75,801	69,778	64,033	65,000
貸出冊数	冊	240,313	264,516	240,954	245,000

(指標を設定できない理由)

#### (成果の概要)

元年度は前年度と比較し利用者人数、貸出冊数とも減少したが、「本の手帳」事業等の実施によりある程度減少幅を抑える効果等があったものと思われる。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口業務の一部委託</li> <li>・泉北地域(泉大津市・堺市・高石市・和泉市・忠岡町)図書館相互利用(平成25年度より)</li> <li>・読書推進機能の充実(インターネットサービス等)</li> <li>・読書推進事業(「本の手帳」の推進)</li> </ul>
--------------	---

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料等の充実</li> <li>・施設の老朽化による修繕・改修の増加</li> <li>・館内の備品類等の劣化</li> <li>・図書類の収容能力の限界</li> <li>・駐車場スペース不足</li> </ul>
---------	--

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市民にとって図書館は、生涯学習の場であり知の拠点である。(学習する権利・知る権利を保障する場でもある。)
改革・改善 策等の具体的 内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	生涯学習推進事業	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	----------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		事業の執行方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他	
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り			(具体的な法令、条例名等)	

#### (事業の目的・趣旨)

広域で連携し取り組んでいる、外国人や識字学習者向けの日本語よみかき教室及び泉北日本語よみかき交流会を、広く市民対象に開催し生涯学習の推進を図っている。

#### (事業概要等)

広域で連携し取り組んでいる、外国人や識字学習者向けの日本語よみかき教室及び泉北日本語よみかき交流会を、広く市民対象に開催し生涯学習の推進を図っている。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	333	326	280	348	
[参考] 財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	府支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	受益者負担・商品分布収入等				
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	報償費				277
	需用費				3

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
よみかき教室開設日数	数	44	43	37	46

(指標を設定できない理由)

#### (成果の概要)

泉北地域に住む外国人や識字学習者に学びの場を提供できた。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	なし
--------------	----

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	なし
---------	----

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 日本語識字施策については、政策推進課の国際交流部門と協力して実施している。日本語の習得は生涯学習事業推進には不可欠であるため、継続して実施する必要がある。
改革・改善 策等の具体的 内容		



## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	団体等育成支援事業(生涯学習)	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	-----------------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	事業の執行方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他	
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り			(具体的な法令、条例名等) 泉大津市社会教育関係団体に対する補助金に関する要綱	

### (事業の目的・趣旨)

社会教育活動に尽力するとともに、活動を通じて市の社会教育の向上に貢献している社会教育関係団体を支援する。

### (事業概要等)

社会教育に関わる各団体への助成を行う。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,955	2,729	2,612	2,631	
[参考] 財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	府支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	受益者負担・商品分布収入等				
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	負担金、補助及び交付金				2,612

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値

### (指標を設定できない理由)

活動を通じた市の社会教育の向上への貢献を目的とするため、数値化することは困難

### (成果の概要)

各社会教育団体の活動が活発に行われることによって地域貢献が行われた。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	なし
--------------	----

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	補助金金額の算出根拠が不明確である。 団体補助であり、運営補助であるので、補助金がどのような事業でどう活用されたのか確認することが難しい。
---------	--

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	B 要改善	(左記評価の理由) 同上
	改革・改善 策等の具体的 内容	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	南公民館運営事業・南公民館維持管理事業	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	---------------------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	昭和49年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		事業の執行方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他		
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り				(具体的な法令、条例名等) 社会教育法 泉大津市立公民館条例・同条例施行規則	

### (事業の目的・趣旨)

すべての世代が学びあい育ちあえるまちをめざし、市民にとって身近な公民館施設は、市民の実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業の実施をもって、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進及び地域コミュニティの活性化に寄与することを目的とする。また、その事業目的に必要な施設である南公民館の維持管理をする。

### (事業概要等)

定期講座・講習会・討論会・講演会・実習会・展示会等を開催する。  
 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図る。  
 体育、レクリエーション等に関する集会を開催する。  
 各種団体、機関の連絡を図り、施設を住民の集会その他の公共の利用に供する。  
 南公民館の利用者が快適に使用できるように維持管理をする。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	9,251	9,927	11,766	9,169	
[参考] 財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	府支出金				
	地方債				
	その他特定財源	355			
	受益者負担・商品分布収入等	545	537	392	285
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	報償費・旅費				693
	需用費				6,107
	役務費・委託料				4,210
	使用料・原材料費				675
負担金補助及び交付金・公課費				81	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
各教室使用回数	回	3,398	3,269	2,919	3,500
各室使用人数	人	48,119	41,835	34,472	50,000
各クラブ開催回数	回	1,808	1,693	1,574	1,900
各クラブ利用延べ人数	人	25,457	21,051	18,458	26,000

(指標を設定できない理由)

### (成果の概要)

主催講座として、子どもから高齢者までの各階層向けの講座52回開催し、700人(延べ人数)の参加者があった。講座内容については、市民の学習要求の高い趣味・教養などの文化・学習の講座への対応だけでなく、人権学習会を開催するなど、現在的課題の学習機会を提供した。また、自主クラブ(48クラブ)の活動に対して場所の提供、運営の助言を行った結果、活発なクラブ活動が展開された。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	公民館で学んだことを地域に還元する「知の循環」を進めるため、自主クラブによる出前講座の推進を図った。公民館主催講座を開催し、講座で学んだことを継続して学ぶための自主クラブの立ち上げを推進する。
--------------	--

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の高齢化とクラブ員の減少への対応</li> <li>・公民館活動で身につけた教養を地域社会に還元する活動(知の循環)</li> <li>・現代的課題(生命・健康・人権・高齢化問題等)をテーマとした講座の企画・立案や講師の選定</li> <li>・老朽化(築46年)した施設の運用課題を利用者と共有する必要がある</li> </ul>
---------	---

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地域住民の学ぶ意欲を育み、人間関係を育てながら、学習情報を提供し、地域住民の親睦や交流の場、文化や体育活動の拠点、子育て支援、子どもの居場所の場となっている。館の維持管理は適切に行われ、市民に安心して快適に利用されている。
改革・改善 策等の具体的 内容	生涯学習課の大学連携(プール学院大学)で、公民館の現状と問題点を分析し、大学の専門的な知見、人材を活用し、事業の検証、見直しを行い、新たな学習機会の企画、立案などを図り、地域の活動支援に取り組む。	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあひとづくり彩りあるまちづくり	生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	北公民館運営事業・北公民館維持管理事業	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	---------------------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	事業の執行方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他	
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り			(具体的な法令、条例名等) 社会教育法 泉大津市立公民館条例・同条例施行規則	

#### (事業の目的・趣旨)

すべての世代が学びあひ育ちあえるまちをめざし、市民にとって身近な公民館施設は、市民の実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業の実施をもって、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進及び地域コミュニティの活性化に寄与することを目的とする。また、その事業目的に必要な施設である北公民館の維持管理をする。

#### (事業概要等)

定期講座を開設する。講習会・討論会・講演会・実習会・展示会等を開催する。  
 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図る。  
 体育、レクリエーション等に関する集会を開催する。  
 各種の団体、機関の連絡を図り、施設を住民の集会その他の公共的利用に供する。  
 北公民館の利用者が快適に使用できるように維持管理をする。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	8,925	8,625	8,641	10,109	
〔参考〕 財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	府支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	受益者負担・商品分布収入等	411	300	561	272
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	報償費・需用費・役務費				4,084
	委託料				2,970
	使用料及び賃借料				1,475
	備品購入費・負担金補助及び交付金				93
	公課費				19

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
公民館の各室使用回数	回	3,576	3,398	2,981	3,500
公民館の各室使用人数	名	43,044	36,658	33,947	40,000
各クラブ開催回数	回	1,783	1,776	1,613	1,800
各クラブ利用延べ人数	人	22,837	20,727	18,477	22,000

(指標を設定できない理由)

#### (成果の概要)

北公民館主催の講座として、一般教養講座3講座、社会福祉講座1講座、健康講座5講座、高齢者講座1講座、料理講座4講座、文化情操講座4講座、青少年育成講座5講座、学校週5日制対応事業1講座を開催した。  
 北公民館で活動する自主運営クラブの活動場所を提供し、運営の助言を行い、活発なクラブ活動が展開され、その成果を地域に還元する活動を支援した。  
 自治会等の各種団体・地域サークルの活動場所を提供した。  
 自主運営クラブの成果発表と地域住民とのふれあいを深めることを目的として、7月「ふれあい夏まつり」、11月「公民館ふれあいまつり」を実施した。  
 施設利用については、利用者ニーズに合した部屋の振割を行うと共に、安全性、快適性を維持した。また利用者からの要望、設備等の事故、故障に対して対応した。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能	IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない	
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	<p>公民館は市民の最も身近な生涯学習拠点として、市民に親しまれるよう、主催講座などを開催している。</p> <p>さらに、本市の課題である少子高齢化の時代に向けて、子育て世代や高齢者の安心安全に役立つ講座の開催と、講座参加者の増加に努めた。</p> <p>また、公民館利用者の安全のため、施設の補修に努め、予防策を講じるなど維持管理に努めた、光熱費に関しては、必要最小限度の使用により経費の縮減が図られた。</p>
--------------	--

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	<p>公民館は老朽化が進み、突発修繕を繰り返しており、効率的ではなく利用者が不便を強いられている。優先順位をつけて予算範囲で執行しているが、今後、利用者の安全に関わるような修繕についても執行できなくなる恐れがある。</p> <p>公民館利用者やクラブ連絡会役員の高齢化とクラブ員の減少、それに伴うクラブ自体の減少への対応。</p>
---------	---

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	<p>(左記評価の理由)</p> <p>A 現行どおり 地域住民の学ぶ意欲を育み、学びあう人間関係を育てながら、学習情報を提供し、地域住民の親睦や親交の場、集会の場、文化や体育活動の拠点となっている。また、館の運営・維持管理は適切に行われ、市民が安全、安心して快適に利用されている。</p>
改革・改善 策等の具体的 内容	<p>市民の学習要求の高い趣味・教養・スポーツなどの、文化・学習・健康活動などの対応だけでなく、「集い・学び・結び」をテーマとした、地域コミュニティの発信施設として、公民館で学んだことを地域に還元していくことに努めた。 プール学院大学と大学連携するサポーターチームにより、公民館事業の検証、見直しを行い、大学の専門的な知見、人材を活用し、新たな学習機会の企画、立案を図り、地域の活動支援に取り組んだ。</p>

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	学習館運営・維持管理事業	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	--------------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	平成26年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		事業の執行方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他		
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り				(具体的な法令、条例名等) 泉大津市立池上曽根史跡公園条例 泉大津市立池上曽根弥生学習館条例	

### (事業の目的・趣旨)

池上曽根弥生学習館の管理運営を行うなかで、池上曽根遺跡の遺物展示のほか、「勾玉づくり」「土器づくり」「土笛づくり」等の体験学習を通じ、弥生文化の理解を図る。

### (事業概要等)

- ・弥生時代の遺物の展示(大型建物掘立柱・大井戸枠)
- ・学習館での体験学習事業(勾玉づくり、土器づくり、土笛づくりなど)
- ・体験学習講座(田植え、稲刈り、土器野焼、火起こし炊飯など)
- ・夏・冬、春休みの体験講座(「土面づくり」「粘土で干支づくり」「カード織」「草木染」「凧づくり」)
- ・伝統産業講座(ガラス細工など)

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	11,597	10,744	11,577	15,529	その他特定財源(つり銭返還金)
[参考] 財源内訳 (千円)	国庫支出金				受益者負担金(講座受講料・教材販売収入ほか)
	府支出金				
	地方債				専門嘱託員の人件費は、事業費総額に含まれる。
	その他特定財源	10	10	10	
受益者負担・商品分布収入等	1,577	1,576	1,495	2,600	
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	報酬・報償費・旅費				4,941
	需用費・役務費・使用料				3,643
	委託料				2,983
	貸付金(つり銭)・公課費				10

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
入館者数	人	11,088	10,537	11,243	12,000

(指標を設定できない理由)

### (成果の概要)

- ・館で実施している体験学習を通じて、来館者に歴史に対する興味を持ってもらう「きっかけづくり」ができた。
- ・各種の体験学習講座を実施し、参加した多くの市民・小学生等に市の歴史を伝えることができた。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアスタッフを対象に指導者講習会を実施するなど、学習館の運営を担っているボランティア指導員のスキルアップを図った。</li> <li>・弥生学習館をはじめ泉州の8つの博物館を結ぶカードプロジェクト「はくふだ」を実施し、博物館への関心を高め来館者の増高に努めた。</li> <li>・市内の小学校(なかよし学級)などに、学習館での体験メニューのアウトリーチ活動に努めた。</li> </ul>
--------------	---

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	<p>館の建築(平成13年3月)から20年近く経過し各所に老朽化による痛みが発生しており、館の長寿命化のため大規模な改修が必要である。</p> <p>体験学習と並んで館の魅力である常設の展示物に、開設以来ほとんど変化がなく、来館者(特にリピーター)を引き寄せる力が薄れてきている。</p> <p>学校単位での体験学習では、他市小学校がほとんどであり、本市小学校の活用が少ない。</p>
---------	--

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市の歴史遺産を後世に伝えることは行政の責務であり、継続していく必要がある。
改革・改善 策等の具体的 内容	<p>令和元年度から2ヵ年で、弥生学習館も含めた史跡の持続的な保存活用方法等の指針となる(仮称)「史跡池上曾根遺跡保存活用計画」を策定し、計画に基づいた市民に愛される空間として再構築を検討する。</p> <p>池上曾根遺跡の保存・活用など目的を共有する和泉市や大阪府との連携を強化し、遺跡関連施設全体で集客増に繋がる事業展開を検討する。</p> <p>市内小学校を対象に、バスでの送迎を試行的に実施する。</p>	



## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	史料調査保存事業	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	----------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		事業の執行方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他	
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り			(具体的な法令、条例名等)	

#### (事業の目的・趣旨)

泉大津のあゆみを後世に伝えるため、古文書等史料を収集・調査・整理し、文化財資料として保存する。

#### (事業概要等)

古文書の撮影、翻刻、調査リストの作成・保存・修理

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,958	2,006	1,867	2,128	
[参考] 財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	府支出金				
	地方債				
	その他特定財源	1	1	1	1
	受益者負担・商品分布収入等				
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	報酬				1,745
	旅費				111
	需用費				10
	貸付金				1

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
古文書整理点数	件	5,000	5,000	5,000	5,000

(指標を設定できない理由)

#### (成果の概要)

古文書調査の結果を研究紀要や調査報告書へ掲載した。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	
--------------	--

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文書専門職後継者の確保</li> <li>・整理した史料を保存公開システムの整備を検討する必要がある。</li> <li>・継続的な調査・研究・成果報告をできる人材の確保</li> </ul>
---------	---

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 古文書調査及び整理は市の責務として行うものであり、専門職により継続的かつ地道な作業が不可欠である。
改革・改善 策等の具体的 内容	広く市民・研究者に調査史料を公開できるシステムの構築が今後の課題である。現行の人的配置では不可能であるため、史料室の位置づけと体制づくりが不可欠。	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	織編館運営・維持管理事業	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	--------------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	平成5年	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民	<input type="checkbox"/> 企業	事業の執行方法	<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託
	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 市民との協働	<input type="checkbox"/> その他	
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り			(具体的な法令、条例名等) 泉大津市立織編館条例		

### (事業の目的・趣旨)

地域産業である繊維産業の振興を目的に、平成5年に開館した。繊維、民族等に関する資料を収集し、保管し、展示して市民の学習及び交流を促進するとともに、ファッション都市にふさわしい芸術性と美術感覚を養成する場を提供し、もって市民の文化的向上に資することを目的とする。

### (事業概要等)

- (1) 繊維関連資料及び民俗資料等(以下「繊維資料」という。)の収集、保管及び展示を行うこと。
- (2) 繊維資料に関する調査研究を行うこと。
- (3) 繊維資料に関する講演会、研究会等を開催すること。
- (4) 織編館のギャラリーを芸術作品展示のため一般の利用に供すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、織編館の目的を達成するために必要なこと。

### 【事業費】

項目 / 年度		H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)		10,897	11,150	12,340	13,221	
[参考] 財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	府支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	受益者負担・商品分布収入等	373	276	714	465	
令和元年度事業費内訳(単位:千円)		費目				金額
		報酬・報償費				2,566
		旅費・需用費				1,093
		役務費・委託料				1,609
		使用料及び賃借料				6,781
		負担金補助及び交付金				291

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
常設展示入場者	人	6,534	7,006	6,225	5,000
企画展示入場者	人	2,914	2,704	2,309	3,000
ギャラリー入場者	人	8,007	7,543	4,842	5,000
体験学習受講者	人	170	772	576	500

(指標を設定できない理由)

### (成果の概要)

企画展「毛布のリサイクル」「世界へ羽ばたく! 泉州アスリート」「御即位記念 天正小袖特別公開展」「道具の姿 今昔」等を実施し、市内の歴史を学ぶ小学生などの団体見学があった。桃山学院大学との連携事業なども実施した。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	廃棄する毛布の淵を利用した「モフ草履体験講座」を更に拡充するため、特に講師などになるための上級編を追加し、令和元年度に5名の方々に、モフ草履アンバサダーとして就任頂いた。
--------------	---

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	令和3年度には常設展示及びギャラリーの移転に伴い、今後の企画展について大学をはじめ企業との連携も含め、新たな対応が求められる。
---------	---

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市が歴史や文化を後世に伝えることは、当然の責務であり、継続する必要がある。
改革・改善 策等の具体的 内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	文化財発掘調査事業	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	-----------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業の執行方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他	
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り			(具体的な法令、条例名等) ・文化財保護法 ・維持管理事業文化財保護条例	

#### (事業の目的・趣旨)

開発等により破壊される危険性のある埋蔵文化財の調査等を行うことで、埋蔵文化財の記録保存を進める。

#### (事業概要等)

埋蔵文化財の発掘調査を推進し、調査報告書を発行する。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,942	1,886	1,900	2,050	
[参考] 財源内訳 (千円)	国庫支出金	949	902	911	1,002
	府支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	受益者負担・商品分布収入等				
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	賃金				1,142
	旅費				95
	需用費				219
	委託料				193
	使用料及び賃借料				251

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値

#### (指標を設定できない理由)

開発等により発生する緊急調査を数値化することは困難である。

#### (成果の概要)

埋蔵文化財に関する新知見を得て、報告書を発行した。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	
--------------	--

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	年度により発掘件数が大きく変わる可能性があるため、予算見積りが難しい。
---------	-------------------------------------

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 文化財保護法にもとづき、市内の埋蔵文化財を保護、継承していくために継続して実施する必要がある。
改革・改善 策等の具体的 内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	文化財保存事業	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	---------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	事業の執行方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他	
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り		(具体的な法令、条例名等) ・文化財保護法 ・維持管理事業文化財保護条例		
(事業の目的・趣旨)					
総合的な地域の文化財の保護や活用をはかる。					
(事業概要等)					
文化財の指定、および有形・無形文化財の保存や公開をすすめる。					

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,492	34,428	2,153	2,566	
[参考] 財源内訳 (千円)	国庫支出金		27,182		
	府支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	受益者負担・商品分布収入等				
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	報酬	報償費	旅費		156
	需用費				19
	委託料				470
	負担金、補助及び交付金				1,508

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
池上曾根弥生学習館のべ入館者数	人	11,088	10,573	11,243	12,000
織編館のべ入館者数	人	17,625	18,028	13,952	13,000

(指標を設定できない理由)

### (成果の概要)

地域の文化財を市民に伝える施設で企画展・講座などを実施し、多くの市民が来館した。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	
--------------	--

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	
---------	--

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 泉大津の歴史・文化は泉大津のアイデンティティそのものであり、後世に受け継ぐべきものであるため、継続して実施する必要がある。
	改革・改善 策等の具体的 内容	



## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	文化・芸術・スポーツ	2	文化・芸術・スポーツ活動の支援

事業名	文化活動振興事業	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	----------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		事業の執行方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他	
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り			(具体的な法令、条例名等) 泉大津市文化芸術振興条例 泉大津市文化芸術振興会議規則	

#### (事業の目的・趣旨)

市民が広く文化芸術に触れる機会を創出し、また市民の文化活動も振興する。

#### (事業概要等)

・シルバー展やギャラリー展などを開催するとともに、市民が広く文化芸術に触れる機会を提供する。  
 ・文化活動を行う団体により市民音楽祭を実施する。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	712	2,955	814	1,168	
[参考] 財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	府支出金				
	地方債				
	その他特定財源		2,200		
	受益者負担・商品分布収入等				
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	旅費				2
	需用費				5
	委託料				632
	使用料及び賃借料				175

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
シルバー展出品作品数	点	36	36	40	40
市民音楽祭出演団体数	団体	20	20	21	21
ギャラリー展出品作品数	点	-	17	13	20

(指標を設定できない理由)

#### (成果の概要)

出品者や出演者に加え、見学者や来場者が文化的刺激を受け、文化・芸術の学びが向上した。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	シルバー展の時期を、11月に開催される市展とずらし6月に変更することで、実質的な展示機会を増やした。
--------------	--

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	シルバー展出品者が固定化している。
---------	-------------------

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 各世代の文化芸術活動を推進するため、継続的な実施が必要である。
改革・改善 策等の具体 的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	文化・芸術・スポーツ	2	文化・芸術・スポーツ活動の支援

事業名	文化祭運営事業	担当課名	新 旧	生涯学習課
-----	---------	------	--------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	事業の執行方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他	
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り				(具体的な法令、条例名等)

#### (事業の目的・趣旨)

市民の文化活動を振興するため、成果発表の機会を設けるとともに、多くの市民が文化に触れる機会を作る。

#### (事業概要等)

市内で活動する多様な文化団体によるステージ発表や市展・学童展などの展覧会を開催する。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,164	3,180	3,327	3,337	
[参考] 財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	府支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	受益者負担・商品分布収入等		105	67	100
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	委託料				3,327

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
市展出品数	点	126	119	149	150
文化祭参加団体数	団体	35	43	46	50

(指標を設定できない理由)

#### (成果の概要)

ごかんのおまつりでは、ステージやブース出展団体等プログラムの変更による刷新を行った。市展では賞を増やしたことで、出品者の意欲が増した。

**【業務効率化の可能性】**

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能		IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの 改善点	11月に集中的に実施してきた「文化祭」に加え、秋～初冬にかけて実施する文化芸術事業を「おづみん文化フェスティバル」と位置づけ文化祭とあわせて発信することで、文化芸術振興の相乗効果を図った。
--------------	--

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	若い世代が参加しやすいシステム構築が必要である。
---------	--------------------------

**【今後の方向性】**

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 継続しつつ、より多くの市民が参加しやすいシステムをつくる必要がある。
改革・改善 策等の具体 的内容		